



果実とやすらぎの里・北海道仁木町

Niki

議会だより にき

No.114

平成29年5月18日発行

今年の予算
活力ある地域づくり

CONTENTS

今年のしごとピックアップ	6
第1回定例会 国民健康保険税率を引下げ	10
町政のそこが聞きたい 一般質問 1人の議員が登壇	14
議会報告・意見交換会を開催	16



元気いっぱい4人兄弟(関連記事20ページ)

平成29年度まちの予算

活力ある 地域づくり



フイんツリーリズムの確立

就労の場の創出

定例会のあらまし

第1回定例会は、3月9日に開会し、3月21日に閉会しました。
町から、平成29年度当初予算、平成28年度補正予算、条例制定・改正、指定管理者、規約変更、人事案件が提案され、全ての議案を可決しました。
なお、平成29年度当初予算、当初予算関連議案（条例制定1件、条例改正4件、指定管理者1件）は、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査し、最終日の本会議において、付託した全ての議案を可決しました。
また、議員提出議案として3件の意見書を提出し、全て可決しました。
一般質問では、1人の議員が登壇し、町長及び教育長に考えを問いました。

まちの特性を 活かして地域 活性化を推進

戦い抜ける農業の実現

ブランド産地の確立

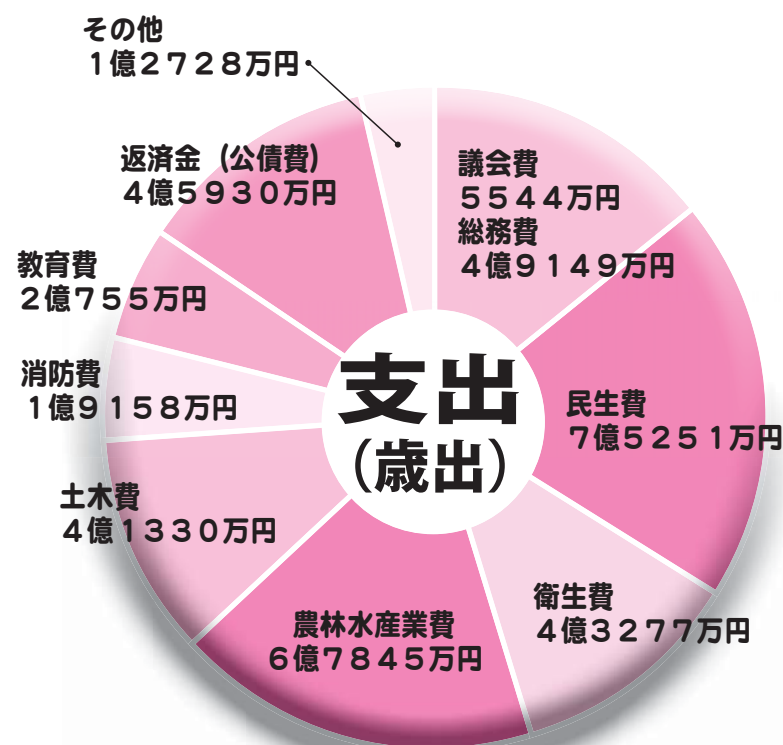


町長選挙のため骨格予算で編成

平成29年
第1回定例会
3月9日~21日

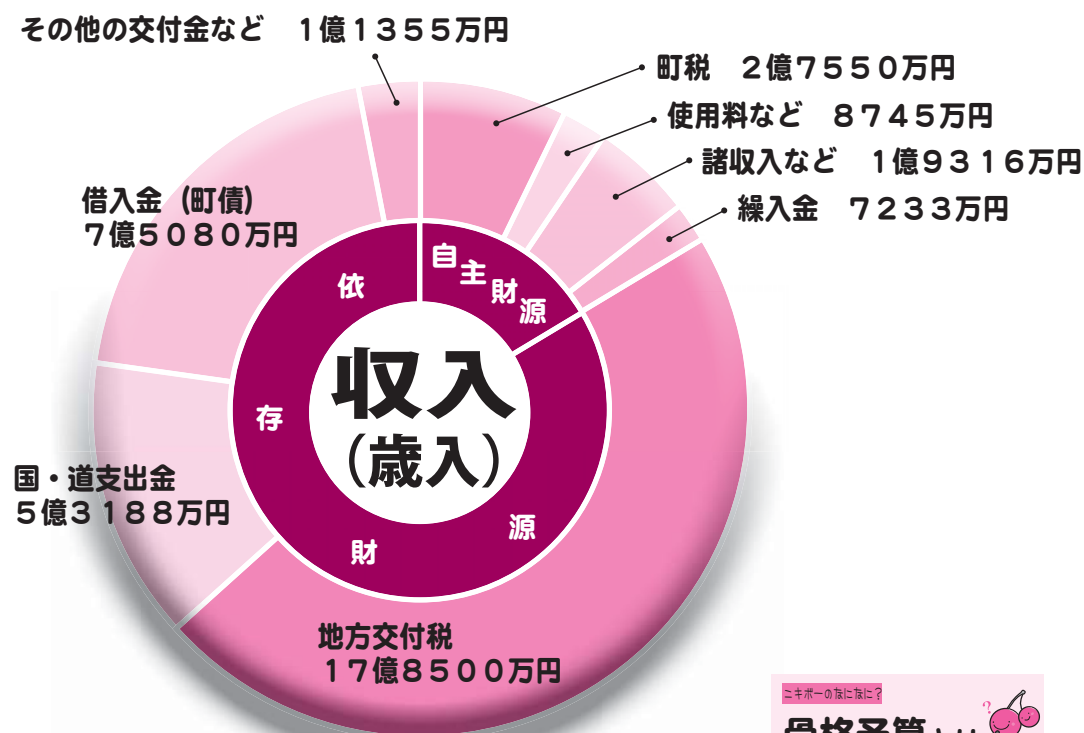
特別会計

国民健康保険事業 2億3652万円
簡易水道事業 2億8880万円
後期高齢者医療 6420万円



一般会計・支出（歳出）

38億967万円



一般会計・収入（歳入）

38億967万円

骨格予算とは
地方自治体の予算編成時期や新年度早々に首長選挙がある場合に、政策的判断が必要な事業を除いて、通常かかる経費を中心に組んだ予算のことをいいます。

町行政と予算案の大綱



佐藤 聖一郎 町長

佐藤町長は、平成29年度町行政と予算案の大綱において、『今日、北海道新幹線や高規格道路の建設など、インフラ整備が加速的に進められる中、本町においても人や物の流れが生じることを好機と捉え、考えられる事業を積極的に発信していくことが求められます。また、ワインツーリズムなど本町の特性を活かし、活力ある地域づくりを様々な方々と連携し、本町の発展と地域の活性化を推進すべく、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略及び第5期総合計画に掲げた事業の着実な推進を図るとともに、町民の福祉の向上のために必要な政策の選択や効率化を図り、町民と議会、行政が一体となって、更なる行財政改革を進めていく必要があることからご理解とご協力をお願い申し上げます』と述べました。

地域の活性化を推進

当初予算

◇**一般会計**
当初予算38億967万1000円（10・8%増）が提案され、討論・採決の結果、**全員賛成**で可決しました。

◇国保特別会計

当初予算2億3651万8000円（4・5%減）が提案され、討論・採決の結果、**全員賛成**で可決しました。

◇簡水特別会計

当初予算2億8880万3000円（22・7%減）が提案され、討論・採決の結果、**全員賛成**で可決しました。

◇後期医療特別会計

当初予算6420万4000円（2・7%増）が提案され、討論・採決の結果、**全員賛成**で可決しました。

一般会計 予算の概要

収入（歳入）の大きな柱である地方交付税は、前年度対比2000万円減の17億8500万円を見込み、収入全体の46・9%を占めています。

一方、町税などの自主財源は6億2844万円と、収入全体の16・5%にとどまり、うち7233万円は、貯金（基金）を取り崩し、繰入しています。

平成29年度は、4月に町長選挙が執行されることから、新規の政策予算を極力抑えた**骨格予算**で、総合戦略や第5期総合計画に盛り込まれた計画事業等、行政の継続性に対応する必要がある経費を計上した予算編成となっています。

総額43億円超の予算を可決

新規 P Rパンフレット制作事業



現在使用している町パンフレット

町の状況、町の歴史、町の特産物、観光スポット等を掲載した観光情報と行政情報を含めた本町紹介用パンフレットを作製します。

378万円

新規 ミニトマト集出荷選果施設整備事業

本町の主要農産物であるミニトマトについて、労働力の軽減及び選果経費の削減を図ることを目的として、新おたる農協が実施するミニトマト集出荷選果施設整備事業に対し支援を行います。



仁木町特産品のミニトマト

5億円

継続

乳幼児等医療費助成事業

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学3年生までの入院及び通院にかかる医療費を助成します。

870万円

継続 学校給食費助成事業

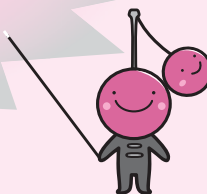
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小中学校へ同時に2人以上通学する児童生徒の保護者に対し、学校給食費を助成します。



小学1年生初めての給食

132万円

今年のしごと ピックアップ



継続

ふるさと納税 特産品返礼事業



人気返礼品のさくらんぼ

8800万円

本町の農産物や加工品などの特産品を全国に広くPRするとともに、寄附者に対して感謝の意を表すため、ふるさと納税寄附者に対し、返礼品（特産品）を贈呈します。

継続

ワインツーリズム振興事業



北町のぶどう園場

1000万円

本町のワイン産業の振興を図ることを目的として、醸造用ぶどうの栽培又はワイナリーの建設を行う人に対し、費用の一部を補助します。

新規 建設等機械整備事業

4350万円

平成13年度に購入した除雪ロータリの老朽化による更新を行います。



更新予定の除雪ロータリ

継続

公共交通調査事業

平成27年度に策定した地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、予約制バスの試験運行を実施し、利便性の高い公共交通の構築を図ります。

724万円

継続 合併処理浄化槽整備事業

快適で衛生的な生活環境の確保と河川の水質保全のため、個人が設置する合併処理浄化槽に対し浄化槽本体工事費にかかる補助基準内の80%を補助します。

2073万円

継続

不妊治療費助成事業

北海道の特定不妊治療費助成事業や不育症治療費助成事業の対象から外れた人、北海道の助成事業では自己負担が生じる人、人工授精の治療を行う人に対し、治療費の一部を助成します。

155万円

平成29年度一般会計及び特別会計の当初予算案、当初予算関連議案、指定管理者の指定議案は、各会計予算特別委員会を設置し、これに付託し、延べ4日間にわたり審査を行いました。議案説明後、活発な質疑が行われ、全ての質疑が終わった後、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての付託議案を全員賛成で「可決すべきもの」と決定しました。

予約制バスの運行

佐藤 予約制バスの試験運行の内容については、どのように決めているのか。

企画課長 予約制バスの試験運行は、仁木町地域公共交通活性化協議会で内容を決めている。内容の案については、町で作成しているため、平成28年度に実施した際の、利用者の声を汲み取った中で、原案を作成していきたいと考えている。

放課後児童クラブ

林 現在山村開発センターで実施し

ている放課後児童クラブを、学校の空き教室等でできないのか。

町長 現在、学校の空き教室は無いため、放課後児童クラブを実施できる状況ではない。時代によって社会情勢も変わってくるので、その時のニーズに応じて、臨機応変に考え、学童保育の環境整備に、これからも取り組んでいきたい。

子育て支援対策事業

住吉 地域子育て支援拠点「おおきな木」の町外利用者について、今後どのように取組んでいくのか。

佐藤 実態を調査したところ、町外利用者が多いことが判明したため、運営をしているよいち福祉会等とも相談し、4月から近隣町村の方は使えないということで、ポスター等で周知している。

耕作放棄地の認定

野崎 ワインツーリズムの振興において、耕作放棄地の再生が重要となるが、誰が耕作放棄地と認めるのか。

農政課長 耕作放棄地については、農業委員会の農地パトロールにおいて、現地を確認し、耕作放棄地かどうかを認定している。

狩猟免許取得に係る補助

宮本 狩猟免許を取得するために、どのような補助をしているのか。

農政課長 狩猟免許の取得補助については、第1種銃狩猟免許の取得費、



昨年度運行した予約制バス

猟銃所持の取得費、わな猟の狩猟免許取得費の3種類について、町から補助している。

農業担い手育成事業

林 農業担い手育成事業について、認定の拡充はできないのか。

農政課主幹 同事業につい

ては、現在、仁木町農業担い手育成に関する条例施行規則等において、親の直系に対し認定することとしている。子の夫や妻が経営者になる場合については、該当とならない。今後そのような事例が出てくるのであれば、見直しも検討していきたい。

町PRパンフレット

嶋田 平成29年に作成する町PRパンフレットについて、多言語化する予定は。

企画課長 町PRパンフレットについては、日本語で作成を考えている。パンフレットは、随時更新しなければならないものであり、また何年後かには、新しいものを作らなければならない。数年後に高速道路が開通することなどを踏まえ、今後作成する際に、多言語化を検討していきたい。

道路整備の計画

水田 現在、町内においてワイナリーが数カ所建設中であるが、将来営業となると、今の道路事情では厳しいと思う。道路の整備について計画はあるのか。

町長 今の段階では道路の整備に関する計画は無い。今後ワイナリーの観光的な部分や、高速

道路の関係も含めて、仁木町全体の都市計画などを、今の段階から検討していかなければならないと認識している。

山岳遭難防止対策

野崎 現在、冬山登山トリーを行い、遭難者が出るのが非常に多い。町として対応をしているのか。

情報防災係長 本町においては、今年度2件の行方不明及び事故が起こっている。個人的に山に入りスキーをしているので、一概に規制するのも難しい部分があるが、人命がかかっているため、余市警察署などと連携をしながら、張り紙や防災無線等で注意喚起を行ってきたい。

備蓄食料・防災資機材の購入

住吉 備蓄食料は計画的に購入しているのか。また、防災資機材の活用方法は。

情報防災係長 備蓄食料については、「仁木町備蓄計画」に基づき備蓄を進めており、人口の約15%分の備蓄を目標としている。

また、防災資機材については、各避難所や各備蓄倉庫に備蓄していくという計画を進めており、避難所を開設した際に住民の皆さんが、ある程度快適に生活できるように配備をしている。暖房機については、冬期間の事業等においても実用性があるということで、使ってもらっている。

体力運動能力調査・スマホ利用状況

佐藤 平成28年度全国体力運動能力調査における本町の状況は。また、町内小・中学生のスマートフォン利用状況は。

総務学校教育部長 本町においては、調査結果の数字を公表していないため、詳しい数字を公表できないが、大体全国平均並みで



役場横の備蓄庫。有事の際に使用する機材や食料を備蓄しています。

ある。また、スマートフォンについても、約半数の子どもが利用しているが、全国平均から見ると低い状況である。

国保税の引下げ

上村 国保税をさらに引き下げること

ほげん課長 平成30年度よ

り都道府県単位での国保財政運営に移行する。移行したことにより、医療費が大幅に上がった場合でも国保税引き上げがなくなると思われるが、今後様子を見ていかなければならないように推移するかわからないため、推移を見て大丈夫であれば、国保税引き下げも検討したい。

公共施設の「アスベスト」調査を実施しました

アスベストを断熱材として使用している可能性のある本町の学校や公共施設における調査を実施したところ、山村開発センター、仁木小学校、銀山小学校、銀山中学校の4施設で煙突用断熱材にアスベストが含まれていることが判明しました。

アスベストを含む煙突につきましては、アスベストがどの程度大気中に排出されているのかを測定する煙突周辺気中濃度測定調査を実施し、今後の対策を検討します。

また、施設管理者に対しては、利用者及び児童・生徒がボイラー室に立ち入ることのないよう施錠するなど管理の徹底を指示し、更には利用者・利用団体及び児童・生徒保護者に対し、このたびの調査結果について報告しました。

仁木町公共施設等総合管理計画を策定しました

公共施設等の老朽化に伴い、今後、大規模改修や立替え等に多額の費用が必要となる一方で、増加傾向にある社会保障関連経費や、国の財政状況を考慮した普通交付税、伸び悩む地方税の状況を踏まえると、公共施設等を維持していくことが財政面から困難な状況になることが予想されます。

このことから、将来負担の軽減化や平準化を図ることや、町民の皆さまと町全体の公共施設等に対する認識を共有することを目的として、「仁木町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

冬季原子力防災訓練が行われました

本町で初めての取組となる、暴風雪と複合災害を想定した冬季原子力防災訓練が、2月4日に行われました。訓練は、後志地方を中心に激しい暴風雪が発生する中、泊原子力発電所3号機において、異常事態が発生したことに伴い緊急事態宣言が発出される想定で行われ、本町におきましては、緊急時通信連絡訓練、広報訓練等のほか、テレビ会議により暴風雪時における原子力災害の防護対策を検討し、事故進展による状況から屋内退避を判断した住民避難訓練を実施しました。

今後におきましては、訓練の結果から課題等を把握した上で、より実効性のある防災体制の構築に取り組んでいきます。

仁木町民スキー場の利用状況をお知らせします

積雪の状況から当初予定しておりました12月23日にオープンすることができず、12月27日から開設し、3月5日をもちまして終了しました。

利用状況につきましては、スキーリフト利用者の述べ輸送人員が7万5331人（前年度：6万3148人、約19%の増加）、スキーリフト利用券売上額は、65万86580円（前年度55万8720円、約18%増加）であったとの報告を指定管理者から受けています。

今後、多くの皆さまに利用していただくため、安全管理体制の保持を第一に、指定管理者とともに鋭意努力していきます。

個人町民税住宅ローン特別控除

2年間延長へ

仁木町税条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正内容については、国の税制改正に伴う地方税法及び関係法令の改正により、個人町民税の住宅借入金特別控除期間の2年間延長、法人町民税の法人税割引下げ、軽自動車税のグリーン化特例を今年度も実施することなどが、盛り込まれています。



住宅ローンによる住民税控除が延長されます。

高等学校学資金貸付制度

新規貸付申請を停止

仁木町高等学校生徒学資金貸付条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正内容については、平成27年度及び平成28年度において、同学資金貸付の制度を利用した人がいなく、国や北海道においても同様の制度を実施していることから、平成29年度からの新規貸付申請の受付を停止するものです。



町ほけん課国保医療係窓口

平成29年
第1回定例会
3月9日～21日

中間所得世帯の負担を軽減

国保条例の一部改正

国民健康保険税率を引下げ

条例改正

国民健康保険税条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正内容は、平成29年度の課税から軽減世帯と限度額世帯の間に位置する**中間所得世帯**の負担軽減を図るため、税率引下げを行うものです。

国保税は年齢・家族構成・所得等によって税額が変わりますので、詳細は町ほけん課国保医療係までお問い合わせ願います。

介護事業の一部が町から国へ移行

地域支援事業及び生活支援事業条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正内容については、介護保険法に規定する介護予防日常生活支援総合事業を平成29年度4月より実施することから、同条例に規定されている予防給付のうち、訪問介護・通所介護については、同事業に移行することになったため、条例の一部を改正するものです。

ニキボーの家に？

中間所得世帯とは

低所得世帯に対し、所得に応じて国民健康保険料を一定の割合で軽減される世帯が軽減世帯で、所得が多く国民健康保険料の算定で上限を超えているため、限度額まで引き下げられた世帯が限度額世帯です。

中間所得世帯は、低所得世帯と限度額世帯どちらにも当てはまらず、所得が中間に位置している世帯を指します。



ふれあい遊トピア公園パークゴルフ場（上）と町民スキー場（下）

平成 28 年度各会計補正予算結果

補正額	予算総額
・一般会計（6 回目の補正）	
8364 万 7000 円減	45 億 2689 万 3000 円
・国民保険事業特別会計（4 回目の補正）	
1488 万 8000 円増	2 億 6829 万 8000 円
・簡易水道事業特別会計（4 回目の補正）	
364 万 6000 円減	3 億 6973 万円

指定管理者制度とは

指定管理者制度とは、地方公共団体が設置した公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人や団体に行わせる制度です。民間の活力を導入し、自治体の経営改善を図る目的で、平成15年の地方自治法改正に伴い、導入されました。

▼後志広域連合規約を変更するための協議
全員賛成で可決

▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼教育委員会委員に木村 章生さん（大江）

教育委員会委員に木村さんを再任

人事案件

提出議員 住吉 英子
賛成議員 佐藤 秀教
全員賛成で可決

▼指定給水装置事業者制度に更新制の導入を求める意見書

その他の意見書

会計予算は、新国保制度に対応するシステムプログラム負担金等による増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◆**簡水特別会計（第4号）**
簡易水道事業特別会計予算は、維持管理費及び施設整備事業費の執行残等による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◆**国保特別会計（第4号）**
国民健康保険事業特別

ふれあい遊トピア公園及び町民スキー場の**指定管理者**を株式会社北海道名販に指定する議案が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◆**一般会計（第6号）**
一般会計予算は、合併浄化槽整備事業、施設園芸ハウス導入事業、橋りょう補修事業、ふるさと納税特定品贈呈事業等の執行残による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

指定管理者に株式会社北海道名販

ふれあい遊トピア公園及び町民スキー場

指定管理者

公共施設の老朽化に対応

「仁木町公共施設等整備基金条例」を制定

平成29年
第1回定例会
3月9日～21日

財源確保を目的に

農業基盤整備に
分担金導入

条例制定

仁木町公共施設等整備基金条例の制定が提案され、**全員賛成で可決**しました。

主な制定内容は、町が現在所有している公共施設及びインフラ施設を維持していくには、大規模改修や更新等に多額の費用を要することが予測されることから、その財源確保を行うものです。

また、本基金条例は、体育施設も補完できることから、仁木町体育施設整備基金条例を廃止することとしています。



昭和45年建設(築47年)の銀山生活改善センター

農業基盤整備促進事業分担金徴収条例の制定が提案され、**全員賛成で可決**しました。

主な制定内容は、国の要綱等の一部が改正され、オペレーター付き機械リースについては、事業主体が町のみに認められることとなり、従来事業実施者が発注していた経費を町が補助することができなくなることから、町が事業主体となり事業を行い、事業者から分担金を徴収するものです。

国・政府等に意見書

無料公衆無線LAN (Wi-Fi)

整備促進を要望

意見書

▼無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書
提出議員 住吉 英子
賛成議員 嶋田 茂

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備は、喫緊の課題となっており、また、防災



無料Wi-Fiが利用できる町内のコンビニエンスストア

医療職の労働環境改善を

の観点からも、防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから整備促進を要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。

▼安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書
提出議員 上村智恵子
賛成議員 佐藤 秀教

医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境改善や、安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師などの増員を要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。

一般質問

第1回定例会の一般質問には、1人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



上村智恵子 議員
就学援助について

15

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

なお、平成28年第4回定例会より、質問1件につき40分の時間制限を設け、平成29年第1回定例会より、説明員に対し反問権を付与しました。

就学奨励費の認定基準を上げるべき

教育長 平成29年度の認定分から引上げを検討中

上村 ①本町の要保護及び準要保護児童生徒就学奨励費

支給要綱では、認定基準を生活保護基準の1・1倍と定めているが、認定基準を引き上げることはできないのか。

また、平成28年度各会計予算特別委員会において、基準の引上げについては「財政当局とも協議していきたい」と答弁し

ていたが、その後どうなったのか。

②新入学児童生徒学用品

費の支給日について、6月では入学準備に間に合わず、新入学を迎える児

童・生徒の保護者は大変である。後志管内では前倒しで支給している町村や前倒し支給について検討している町村も増えており、本町でも前向きに検討する必要があると考えるが、町長、教育長はどう考えているのか。

教育長

①これまでも社会情勢や後志管内の状況を踏まえ検討してきたが、後志管内の3分の2の町村が認定基準を生活保護基準見直し前の1・2倍以上としており、仮に他町村で支給されていた児童生徒が本町へ転校した場合には支給されないこともあり得ることから、平

ニキボーの仮に仮に？

要保護及び準要保護児童生徒就学奨励費



町では、学校教育法第19条及び就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励について国の援助に関する法律の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者の負担を軽減するために、要保護及び準要保護児童生徒就学奨励費を支給しています。

なお、就学奨励費目は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、体育実技用具費、クラブ活動費、児童生徒会費、PTA会費、通学費、修学旅行費などで、支給額は国が定める基準により町の予算の範囲内で、毎年度、教育長が定めています。

町長

①教育委員会といういろいろな協議して、この件に関しては、基準を引き上げを行う方向で前向きに考えているが、今年は改選期であるので、このような政策的な予算は、2期目の政策として反映していきたい。

②支給の前倒しについても、教育委員会と協議していきたい。



上村智恵子 議員



より良い教育環境の整備を！



当日の様子



平成29年2月4日(土)銀山生活改善センターにおいて、2回目となる議会報告・意見交換会を開催いたしました。町内外から28名の皆さまにご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

- ◆当日の次第
- 1 開会
 - 2 議長挨拶
 - 3 議員紹介
 - 4 議会報告
 - (1) 総務経済常任委員会
 - (2) 議会活性化特別委員会
 - (3) 議会広報編集特別委員会
 - 5 その他
 - 6 閉会

議会報告・意見交換会を開催



同会を開催するに当たり、報告内容など、種々協議を重ねてきました。

当日は、上村副議長が司会を行い、横関議長の挨拶、議員の紹介、議会報告と、次第に沿って進行。

議会報告の内容については、平成28年度の委員会活動を中心に、各委員長がレジュメを用いながら、報告を行いました。

また、意見交換の場面では、参加された皆さまから、たくさんのご意見やご質問をいただき、実りある議論を交わ

することができました。

皆さまからのご質問

Q 合併浄化槽の普及率が低いと思う。町補助金の補助率を上げることも考えたほうが良い。議会として、大いに声を上げて議論を深めてほしい。

A 平成27年度につきましては、5人槽で7基、7人槽で5基、35人槽で1基、総額1614万2000円の補助をしていきます。今後も、普及率が上がるよう事業PRも含

め、努力していきたいと考えてます。

Q ふるさと納税をやっているが、その収入と使道は。

A 昨年度のふるさと納税の寄付額は、1億円程度です。今年度につきましては、約2割減となっています。

お金の使い道につきましては、3人目の学校給食費無料など、主に子どもたちのために活用されています。

Q 地方創生加速化交付金はどうに使われているのか。

A 地方創生加速化交付金は、一昨年度から始まり、現在進めているワイン・ツーリズムに対し交付を受けており、仁木町にたくさんの方が来てくれるような町づくりを行っていくため、同交付金が活用されています。

Q 議会をインターネットの中継できるよう、努力してほしい。

A 議会中継につきましては、予算の関係上設置が難しいですが、今後、議会改革の面も含めて検討をしていきたいと考えています。

また、議会の傍聴者が少ないので、どのようにしたら町民の皆さまが議会の活動を知っていただけるかということも含め、努力していきます。

Q 一般質問の反問権の内容について、教えてください。

A 反問権につきまして

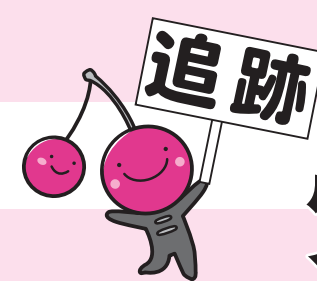
地方創生加速化交付金とは？

地方創生加速化交付金とは、1億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、また、「子育て支援」や「安心につながる社会保障」も含めた「新・三本の矢」の取り組みに貢献するため、創設された交付金です。

※おこわり
ご意見・ご質問の一部を抜粋して掲載させていただきました。



貴重なご意見ありがとうございました



追跡

あれからどうなった？

質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査しています。

国民健康保険税率 引下げ決定

質問 国保税の引下げを 〈平成28年第4回定例会〉

各町村の国保財政の運営により税率を設定していたことから、税率が高く設定されている。平成30年度より国保財政運営が北海道に移行することもあり、国保税率を見直すべき。

答弁 税率を改正する考えはない

医療費急増などに備えている基金を繰り入れて、税率を下げることについては、考えていない。

あれから…こうなりました

現在 医療費減少等により税率引下げ

医療費や保険者である後志広域連合負担金が減少傾向にあることから、国保税率を引き下げることになりました。

町道種川線交差点道路 拡幅へ

陳情 観光シーズンにおける 渋滞解消のため拡幅を

「陳情第1号・町道種川線フルーツ街道交差点手前道路拡幅に関する陳情」が平成28年第1回定例会において採択。

あれから…こうなりました

現在 平成29年度予算に組み込まれる

平成29年度一般会計予算において、町道種川線交差点の「改良調査設計及び用地確定測量委託業務」・「町道種川線の交差点改良工事」の予算が組み込まれ、拡幅予定。



陳情者が求めていた道路拡幅箇所（町道種川線）



平成29年2月15日開催の委員会において、「仁木町議会の運営に関する基準」（平成29年4月1日施行）を制定しました。これは、条例や規則等に明記されていない過去の先例や申し合わせ事項等を明示文化したもので、誰が議員になっても議会が滞ることのないよう適正かつ円滑な議会運営を目的として制定されました。平成28年4月の委員会において、制定に向けて進めていくことを決定し、1年

間、計9回の委員会を開催して、協議検討を重ねてまいりました。基準の内容については、第1章・総則から第16章・その他のまでの16の章と、153条の条文で構成されており、議会の招集や、議案及び動議、議事日程、発言等についての規定をしています。

ニキボーのなになに？

「議会の運営に関する基準」とは



それぞれの市町村議会は、地方自治法や会議規則、委員会条例等に基づき、議会運営が行われています。その法令よりも更に実務性を強くしたもの、議会での先例や申し合わせ事項を規定したものが、「議会の運営に関する基準」です。

全国町村議会議長会からも標準的な基準が示されており、4月1日から施行された「仁木町議会の運営に関する基準」は、それを参考に協議検討を重ね、仁木町議会の先例や申し合わせ事項等を付け加えた内容となっています。

・地方自治法
・仁木町議会委員会条例
・仁木町議会会議規則 …等々

法律・条例・規則等に明記されていないこと
⇒ 先例や申し合わせ事項（法令にない決まり）等による議会運営

法律・条例・規則等に基づき、議会運営が行われている。

先例や申し合わせ事項等を明文化したもの
＝
「議会の運営に関する基準」

ぎかいトピックス

議会だより にき 第31回町村議会広報全国コンクール 優良賞を受賞しました！



議会だより にき 110号



このたび、「議会だより にき 110号」が第31回町村議会広報全国コンクールにおいて、優良賞（第8位）を受賞しました。今後も町民の皆さまにわかりやすく伝えられる議会だよりを目指し、努力していきます。

全国第8位
2度目の入賞！

議会活性化
特別委員会

議会の細かなルールを明文化

「仁木町議会の運営に関する基準」を制定



子どもが自立できる町に

半田 貴大さん（北町）

連載7回目は、北町在住の半田さんファミリーを紹介します。奥様と4人のお子さんの6人家族です。

貴大さんは、3年前に新規就農で仁木町に移住、現在はミニトマト、豆類などを栽培しています。

◎仁木の子育て環境はどうですか。

中学生まで医療費無料や、学校給食費の補助は、子どもが多いので、ありがたいですね。

◎子育てに関して、町に何か望むことはありますか。

ノートなどの文房具を売っているところがあると良いと思います。一度子どもにノートを買いに行かせたことがあったんですが、町の中をいろいろ回っても売っていないかったそうです。子どもが家から自分の足で買い物ができる環境を整備してほしいです。



（取材・インタビュー）嶋田 茂

◎お子さんに対してメッセージを！

何事にも一生懸命に頑張る子になってほしいです。

町民さんを紹介！



民生委員児童委員協議会の皆さん



町内で活躍されている民生委員児童委員協議会の皆さんを紹介いたします。

民生委員児童委員は、法律に基づいて町長から任命された委員で、社会福祉の増進と児童の健全育成のため、日々ご尽力いただいている方々です。

協議会は15名で構成され、様々な年代や職業の方がいらっしやいます。本業をお持ちの方も多し中、家庭訪問や福祉施設の慰問活動など、その福祉精神には頭が下がります。

委員の皆さんからは、「高齢者が増えてきているため、が、定数は決められています。域住民みんながお互いに助け合える隣人愛の精神を持った社会が望ましいですね」との意見をいただきました。



（取材・記事）住吉英子

隣人愛の精神を持って

また、町に対しての要望を伺ったところ「協議会としては特に望むことはありませんが、町民一人ひとりが安心して暮らせる町づくりを目指してほしいです」と回答され、私たち議員も町民の生活を一番に考えなければならぬと改めて思いました。

次の議会は
6月定例会
（6月中旬開催予定）
ぜひ傍聴に来てください

◆編集・発行責任者
議長 横関 一雄
◆議会広報編集特別委員会
委員長 住吉 英子
副委員長 嶋田 茂
委員 佐藤 秀教
委員 野崎 明廣

寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。

編集後記

新年度に入り、各学校では入学式が挙行され、新1年生が入学しました。また、4月から就職され、新社会人となった方もいらっしゃると思います。新入生も新社会人も、これから希望と不安の中でたくさんのご経験し、学んでいくことでしょう。

さて、4月18日に町長選挙が告示され、無投票で佐藤町長の再選が決まりました。これからも共に切磋琢磨し、本町の発展に寄与していきたいと思っています。

また、「議会だより」にき110号」が第31回町議会広報全国コンクールにおいて、優良賞（第8位）をいただきました。これも多くの皆さまのご協力の賜物です。誠にありがとうございました。

これからも町民に親しまれる議会だよりとして、皆さまの声を反映してまいります。

〈野崎 明廣〉